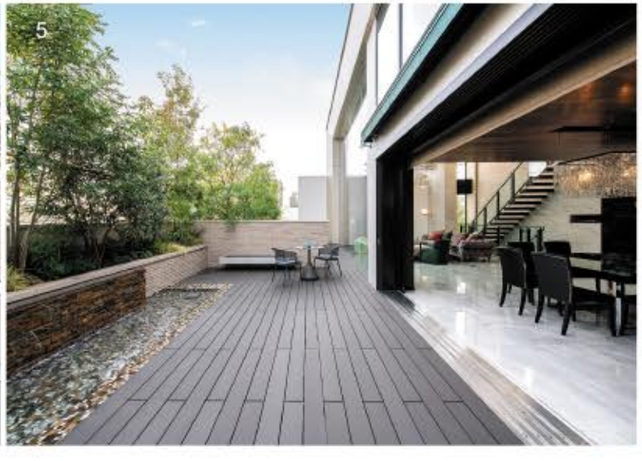
光輝を放ち白光を取り込む

北側の大開口より日中はやわらかい光が室内を包み、
夜はシャンデリアが煌びやかな光を放つ。
時の移ろいと共に出合う、多彩な光に満たされる。

北側に設けた大開口によって直接的な光を避け、南側のトップライトとハイサイドライトで明るさを補い、やわらかな光を演出。夜は、輝くシャンデリアと間接照明の直線的な光のラインが光彩する。

Earnest Group
Earnest architects



4. テラスから見た景色。ダイナミックな開口を透して、照明に照らされた室内を臨む。ダイニングキッチンの開口はフルオープンにすることができる開放的なつくりとした。
5. ダイニングキッチンとフラットにつながる水盤のあるテラス。緑色のオーニングを広げれば、陽光や雨もしのげ、屋外と室内を自由に行き来できる気持ちの良い空間。
6. スリット状に不透明な強化ガラスを使用し、大開口のある北側も豊かな緑が目隠しの役割を果たす。ガラスと緑を用いて閉塞感は与えずプライバシーを守る外観。

1. ダイニングの上は壁面をガラス張りにした主寝室が、リビングからは見上げる視線になるため、中の様子は見えにくく、プライバシーを保ちながら広がりのある空間に。
2. 食器棚や収納の一部に大型テレビをレイアウトすることで、目立たずスッキリとした印象。フェンディのシャンデリアとモザイクタイルが燦然と輝くダイニングキッチン。
3. キッチンは白を基調としたシンプルで使い勝手の良い仕様。ダイニングキッチンの天井にはフローリングを張り、視線を開口に誘導。テラスの先の水景に目が留まる。

Earnest Group
Earnest architects

重厚感のあるご主人の書斎は、エントランス横に位置し、両サイドの壁面をガラスで仕上げ、エントランスからもガレージに停まる愛車を眺めることができる。

モノトーンのダークな空間に鮮やかな赤と青の愛車が際立つガレージ。書斎と同じバカラの照明を使い、連続性と広がりを与えた。

1. 流れるような曲線の壁にアルマーニのクロスを貼ったエントランス。素材感のある布地のクロスは、大胆な柄で壁そのものがアートのよう。対面にはガラス張りの書斎が。
2. 2階にあるレストルームは洗面の対面にトイレを配置。閉塞感を払拭するためトップライトを設け、上部の抜け感を演出。壁面に張ったマーブル模様のタイルが印象的。
3. フルスイングのできる地下のゴルフルームは、最新のシュミレーションゴルフを搭載し、プレイを仲間と楽しめる。クッション性のあるブルーのパネルが人工芝に映える。
4. 地下にあるセカンドリビングは、開放的で明るいメインリビングとは対称的な空間。ヴィンテージ感のあるインテリアは隠れ家のようなイメージで、その対比を楽しむ。

Earnest Group
Earnest architects
建築設計事務所：アーネストアーキテクツ株式会社
〒108-0014　東京都港区芝5-5-1　お問合せ先：03-3769-3333
HP http://earnest-arch.jp

こちらの作品は、ホームページでご紹介しています。
詳しくご覧になりたい方は 光輝を放ち白光を取り込む で検索！
アーネストグループのWEBサイトでは様々な作品事例をご覧頂けます。
アーネストアーキテクツ で検索!アクセスをお待ちしております。

アーネスト青山ギャラリー
東京都港区南青山6-4-6
almost blue　A棟-Ⅱ
TEL:03-6450-6772

アーネストグループ大阪
大阪府大阪市西区新町1-28-3
四ツ橋グランスクエア9階
TEL:06-6537-7731

■DATA
敷地面積／276.01㎡
延床面積／462.84㎡
地　　下／110.69㎡
1　　F／163.05㎡
2　　F／130.59㎡
3　　F／ 58.51㎡
構　　造／鉄骨造

■STAFF
企画室室長：和田直哉
設　　計：土田清
コーディネーター：小林千夏
撮　　影：熊谷忠宏／佐藤早（外観・テラス）

圧倒的な空間のボリュームを感じさせる吹き抜けのリビング。ご主人の好みであるモダンな空間に、奥様が選んだクラシカルな家具が組み合わされ、住み手らしいインテリアに。

Earnest architects

空間のボリュームが豊かさをもたらす

庭と共に過ごすおおらかな都市住宅

アイレベルでは豊かな庭へ、見上げれば空へと視線が抜けていく開放感――。
おおらかな空間構成は都市住宅における理想であり、同時に手に入れることが難しいものです。
ラグジュアリーな都市住宅を多数手掛ける「アーネストアーキテクツ」が、
この難題を豊富な経験を活かし、プライバシーの保護とセキュリティを両立しながら実現しました。

安寧の日常生活の中に〝晴れの場〟をつくる

住み手のIさんは会社の経営が一区切りしたのを機に、マンション住まいから一戸建てに変えることを決意。家で過ごす時間が増えたことから、マンションにはない庭や自分たちだけの空間を手に入れることが目的でした。近くに高い建物がない閑静な住宅街に敷地を手に入れ、以前からモダンリビングにも事例が掲載されている、アーネストアーキテクツを家づくりのパートナーに選びました。

アーネストアーキテクツは、部屋数などの与条件を満たしつつ、各スペースのボリュームをもたせ、Iさんがゆったりと家の中で過ごせることを設計の基本としました。その考えは建物に入る前から始まります。外観は安心感と威厳を感じさせるゆったりとした構え。観音開きの門扉を開けてアプローチから玄関扉を明けると圧巻の階段スペース。視線がアイアンの手すりを辿りながら3階まで導かれます。リビングは2層吹き抜けの大空間。南北に開口を設けることで、外部との一体感が増し、さらに空間の広がりを感じさせます。隣接するダイニングは、天井高を抑えて家族やゲストとの食事の時間がより親密になるように配慮。キッチンはセミクローズドとしました。

この住まいは建物をL字型に配することで、3階建てのほとんどの部屋が庭に向かって大きく開いています。アーネストアーキテクツは、近隣住宅の窓の位置やサイズ、道路からの視線を緻密に検証し、プライバシーの保護を徹底しました。Iさんが家族と共にする穏やかな時間と、心躍るダイナミックな空間の両立――。それは豊富な設計経験に基づく安心と安全があってこそ担保されるのです。

1 広々としたエントランスホールと階段。クラシックモダンなアイアンの手すりが、美しいカーブを描きながら上階へと続く。圧倒的なラグジュアリー感を演出する空間構成。**2** リビングとガラスで緩やかに仕切られたダイニング。庭を眺めながら食事を楽しむことができる。折り上げ天井の照明とシャンデリアがアクセント。**3** コンクリート打ち放しのモダンな外観。広々とした芝庭を囲むように、L字型に建物が配されている。

空間だけでなく建具や開口にもゆとりを感じさせる

4 南北に大きく開いた1階のリビング。外部との連続感がより強調され、縦方向にも横方向にも視線が抜ける。壁面のテレビボードとウッドパネルは空間に合わせてオーダーしたもの。写真左奥の大きなガラスの扉の向こうに階段室がある。**5** 障子が庭の景色を切り取るモダンな和室は、15畳ほどのゆったりとした広さ。写真左のモダンな格子はオリジナルのもの。**6** 1階のダイニングに隣接したキッチンは白とこげ茶を組み合わせた端正なデザイン。中央のアイランドカウンターが配され、作業効率にも配慮されている。**7** 外観の夕景。直線を生かした端正な佇まいに、アイアンの門扉が映える。

お問い合わせ●アーネスト アーキテクツ　☎03-3769-3333